

2023年にいただいたサポートのご報告 今年もありがとうございました

Tokyo Investigative Newsroom Tansa <contact@tansajp.org>

2023年12月31日 9:59

返信先: Tokyo Investigative Newsroom Tansa <contact@tansajp.org>

こちらのメールは、Tansaの寄付者、メルマガ希望者、スタッフと連絡先を交換した方々へお送りしています。

ご不要の方は、[配信停止](#)していただけます。



こんにちは。スタッフの佐野誠です。
いよいよ大晦日、いかがお過ごしでしょうか。

今年一年、皆さまには、ご寄付だけではなく、記事の拡散やTansaのパンフレットを身近なところで配布していただくなど、広報でもお力添えをいただきました。本当にありがとうございました。

12月に開始した「[記者を増やしたい！新たなマンスリーサポーターを募集！](#)」
[キャンペーン](#)では、Syncable以外での登録も含め、新たに58の方がマンスリーサポーターになってくださいました。現在、継続寄付をいただいているサポーターは503人となりました。

この機会に月額を増額してくださった方にも、改めてお礼申し上げます。

さて、今日は1年の締めくくりの日ですので、2023年の1年間にいただいたご寄付について、ご報告いたします。

◎マンスリーサポート：約1129万円（月平均約94万円）

用途) サポーターから用途指定がない限り、Tansaに関わることを全般に使用できます。助成団体からの助成金は、用途を取材テーマに限定している場合が多いため、マンスリーサポートは、記者、スタッフの人件費を中心に、運営に係わる業務委託費や諸経費にあてられています。

今年ようやくマンスリーサポートだけで年間1000万円を超えました。それでも、メンバーの人件費や新しい人材の採用を考えるとまだまだ足りません。

◎ワнтаイムサポート：約518万円

用途) マンスリーサポートと同様です。

◎取材費サポート

- ・ [「誰が私を拡散したのか」](#)：約143万円
- ・ [「保身の代償」](#)：約132万円
- ・ [「公害『PFOA』」](#)：約83万円
- ・ [「消えた核科学者」](#)：約38万円
- ・ [「Cross-border investigative journalism from Japan」](#)：約500USドル（

GrobalGivingによる上乘せ分含む）

用途) それぞれの取材でかかる交通費、出張費、情報公開請求費、資料購入費、業務委託費などにあてられています。特に、国の内外を問わず費用のかかる出張に躊躇なく行けるのは、この取材費サポートあってのことです。

辻麻梨子は [「誰が私を拡散したのか」](#) で、N番部屋事件の取材に韓国、アプリの運営者を追ってシンガポールへ飛び、渡辺周は [「消えた核科学者」](#) で、失踪した竹村達也さんの実家があった大阪をはじめ、沖縄、熊本、鳥取、兵庫、福井、静岡、山梨、新潟、千葉、茨城、福島、そしてソウルと、血の通った情報を求め各地に足を運んでいます。

また、中川七海は [「公害『PFOA』」「保身の代償」](#) で関西や九州などへ頻繁に赴く一方、情報公開請求をこれだけ多くの公的機関にかけています。

環境省、厚労省、経産省、農水省、文科省、総務省、防衛省、外務省、内閣府、消防庁、公正取引委員会、国民生活センター、東京都、長崎県、岡山県、大阪府、大阪市、堺市、豊中市、寝屋川市、高槻市、枚方市、吹田市、八尾市、東大阪市、静岡市、京都大学、他

どのテーマも、取材が進むほどに次の課題が見えてくることの繰り返しです。引き続きご支援をお願いします。

Tansaは、どのような経済状況でも記事を読んでいただけるよう購読料は取っていません。また、独立した立場を守るため企業からの広告収入も受け取って

いません。皆さまからのサポートが事業継続の大きな力となっています。

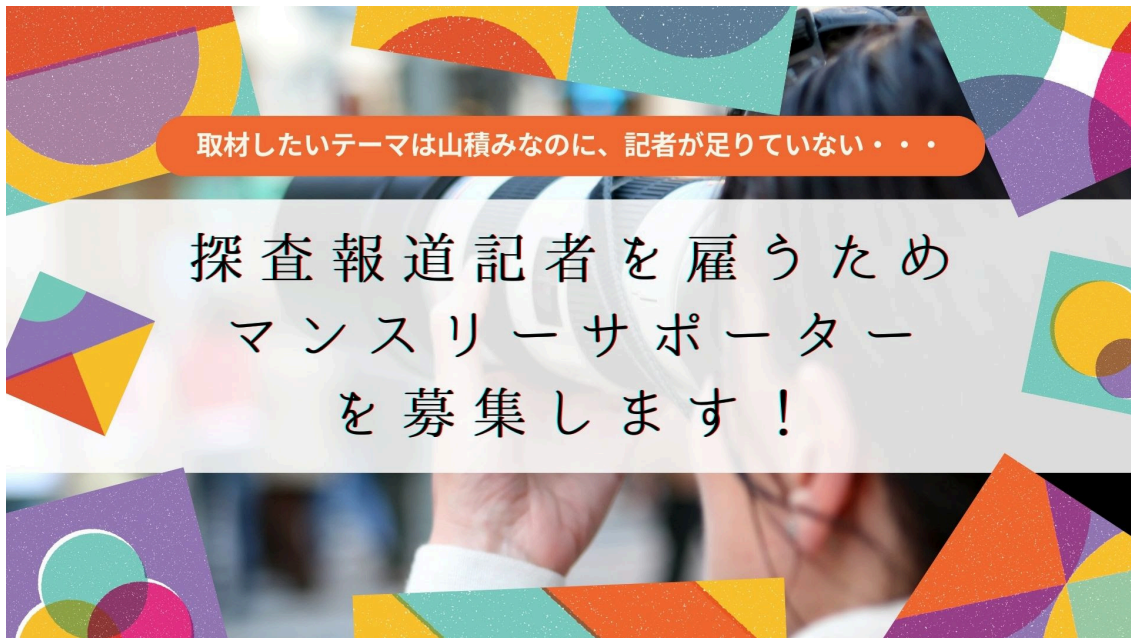
マンスリーサポーターの募集キャンペーンは、年明け以降も続きます。ぜひこの機会にご検討ください。

すでにマンスリーサポートをいただいている場合、月額を増額も受け付けています。support@tansajp.orgまでご希望額をお知らせください。Syncableで継続寄付をご登録されている場合は、Syncableのサイトからお手続きください。

皆さまのご期待に応えられるよう、Tansa一同、来年も引き続き頑張ります。

それでは、皆さま、よいお年をお迎えください！

マンスリーサポーターのご登録はこちら



取材したいテーマは山積みなのに、記者が足りていない・・・

探査報道記者を雇うため
マンスリーサポーター
を募集します！

マンスリーサポーターを募るキャンペーンを実施中です。着手したいテーマはたくさんあるにもかかわらず、すでに抱えている取材だけでも3人の記者は手一杯な状況です。新しい記者を入れて育てたいですが、少なくとも数年雇用できるだけの安定した財源がなければ、難しい状況です。記者が増えれば、成果が増えます。ぜひご支援をご検討ください。よろしくお願いたします。

読者アンケートにもご回答ください



Tansaでは、活動を応援していただく方法の一つとして、あらゆる分野の単発のボランティアを募集しています。内容は、書類発送やイベント時のお手伝い、動画編集などさまざまです。実際にボランティアをお願いする際には、こちらのフォームでご登録いただいている方に個別連絡し、面談を行なった上でご参加いただきます。（登録後すぐにボランティア活動があるわけではございません。）皆さまのご登録をお待ちしております！

ボランティア登録する



特定非営利活動法人Tansa

編集長 渡辺周

105-0013 東京都港区浜松町2-2-15 浜松町ダイヤビル2階

Tansaは

探査ジャーナリズム組織の国際ネットワークGIJN
(Global Investigative Journalism Network) に加盟しています。

[設定変更](#) [配信停止](#)

Copyright © 特定非営利活動法人Tansa, All rights reserved.